

地域別方針

区の東部に位置する北大塚1丁目から3丁目、南大塚1丁目から3丁目、西巢鴨1丁目及び上池袋1丁目の区域で、谷端川に削られてできた谷状の地形が中心となっています。土地利用は、住宅系が過半を占めており、戦災復興土地区画整理事業が行われた地区は中高層のマンション等が立地し、それ以外では木造住宅密集地域が広がっています。明るい駅前広場として

表
デザイン
制作中

表 みどりの現況



都電荒川線沿い「大塚バラロード」

再整備された大塚駅周辺では、商業業務系の建築物が多く見られます。また、大塚駅周辺及び折戸通りには、商店街が形成されています。緑被率は比較的低いですが、地元組織による花植えやごみ拾いなどの維持管理が進められており、特に都電沿いのバラ緑化は多くの人に親しまれています。

●みどりのネットワークの形成

- 放射8号線（春日通り）、みどりの南北軸を形成する環状5の1号線（明治通り）、補助79号線、補助80号線、補助81号線及び補助174号線における街路樹の整備及び適切な維持管理の推進
- 西巢鴨中学校周辺の桜並木の保全
- 大塚駅から春日通りにおける、地域と協働した都電沿いのみどりの保全とみどりのネットワークの拡大、及び見どころを巡るルートを選定
- 大塚駅周辺のみどりづくり
- 大塚駅の南口・北口駅前広場の花やみどりによる魅力づくり
- 公共公益施設や民有地の緑化推進
- 各学校での地域と連携するみどりづくり（「みどりの緑むすび」）
- 住宅地等における接道緑化、壁面緑化等の推進による目に見えるみどりの創出
- 上池袋1丁目での居住環境総合整備事業による防災広場の整備や接道緑化等の推進

●都電沿いのバラ緑化のPR

- バラ祭りなどのイベント等による都電沿いのバラ緑化の魅力を発信
- **区民参加によるみどりづくり**
 - 南大塚公園や北大塚二丁目公園などにおける区民参加の花壇の維持管理を推進
- **（仮）パーク・グリーンインフラの推進**
 - 区民・事業者・学生などの参加による大塚地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

●区民参加によるみどりづくり

- 南大塚公園や北大塚二丁目公園などにおける区民参加の花壇の維持管理を推進

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

- 区民・事業者・学生などの参加による大塚地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

～色とりどりの花に包まれ、人々が交流する花と緑の美しいまち～



大塚駅南口広場「TRAMパル大塚」



補助81号線（空蟬橋通り）



南大塚公園



図 みどりのまちづくり方針図（3. 大塚地域）

5-4 地域別方針 池袋本町・上池袋地域

①みどりの現況

区の北部に位置する池袋本町1丁目から4丁目、上池袋2丁目（清掃工場区域を除く）から4丁目の区域で、池袋本町公園、上池袋さくら公園、池袋本町電車が見える公園、池袋だんだん公園のほか、池袋本町地区校舎併設型小中連携校沿道のまちかど空間や歩道緑化、谷端川北緑道、氷川神社や重林寺の境内などにまとまったみどりの資源があります。土地利用は、

4. 池袋本町・上池袋地域			
面積	111.2 ha		
人口（R4.1.1推計基本対称）	29,113 人		
緑被率（R元）	12.6 ha 11.3 %	12地域の内	8 位
樹木被覆地	10.9 ha 9.8 %		
草地	1.1 ha 1.0 %		
屋上緑化	0.6 ha 0.5 %		
公園面積（R3.7.1）	29,255.4 m ² 2.6 %		
みどりの活動（R3）			
・協定花壇	7 箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	2 箇所		

表 みどりの現況

表
デザイン
制作中



谷端川緑道

住宅系が大部分を占めており、ほぼ全体が木造住宅密集地域になっています。JR埼京線及び東武東上線沿いには、工場や作業所などもみられます。また、北池袋及び下板橋駅周辺、池袋本町通りには商店街が形成されています。公園面積率は12地域中3位と高くなっていますが、緑被率は比較的低い地域です。

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

- 放射8号線（川越街道）、みどりの南北軸を形成する環状5の1号線（明治通り）における街路樹の適切な維持管理の継続
- 補助73号線及び補助82号線の整備に合わせた街路樹の整備や沿道の緑化
- 谷端川北緑道における地域と協働した維持管理の推進と緑地の充実
- 池袋本町・上池袋地区のみどりの見どころを巡るルートを選定

●公共施設や民有地の緑化推進

- 池袋本町地区校舎併設型小中連携校における、周辺の寺社や公園とつながる緑化の推進
- 各学校での地域と連携するみどりづくり（「みどりの緑むすび」）
- 上池袋2丁目から4丁目、池袋本町1丁目から4丁目における居住環境総合整備事業による接道緑化等の推進
- 住宅地等における生垣化の促進やオープンスペースの確保

- 北池袋及び下板橋駅周辺、池袋本町通りの商店街でのみどりづくり
- 歴史を伝えるみどりの保全・保護
 - 氷川神社のまよりのあるみどりの保全
 - 重林寺などに存在する歴史的な価値のある樹木の保護
- 区民参加によるみどりづくり
 - 池袋本町電車が見える公園や上池袋くすのき公園における、区民参加によるいのちの森の維持管理の推進
 - 上池袋くすのき公園や町会で管理している北池袋駅の花壇など、区民参加の緑化活動の推進
- （仮）パーク・グリーンインフラの推進
 - 区民・事業者・学生などの参加による池袋本町・上池袋地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

～緑豊かな公園を核として多世代が安心して楽しめるまち～



池袋だんだん公園



氷川神社



池袋本町地区校舎併設型小中連携校



電車が見える公園



重林寺



池袋本町公園



池袋本町公園プレイパーク



上池袋くすのき公園



図 みどりのまちづくり方針図 (4. 池袋本町・上池袋地域)

5-5 地域別方針 池袋東地域

①みどりの現況

区の中央に位置する東池袋1丁目から5丁目、南池袋1、2丁目、清掃工場がある上池袋2丁目の一部の区域で、池袋駅前のグリーン大通りはクスノキ・ケヤキなどの区を代表するみどりの並木として親しまれています。土地利用は、商業業務系の占める割合が高く、都電荒川線の沿線には住宅地が広がっています。また、東池袋4、5丁目は木造住宅密集地域になっています。

5. 池袋東地域			
面積	138.4 ha		
人口（R4.1.1住民基本台帳）	24,726 人		
緑地面積（R元）	12.0 ha	8.6 %	12地域の内 12 位
樹木被覆率	9.2 ha	6.7 %	
緑地	1.4 ha	1.0 %	
屋上緑化	1.4 ha	1.0 %	
公園面積（R3.7.1）	46,669.0 m ²	3.4 %	
みどりの活動（R3）			
・協定花壇	1 箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所		

表 みどりの現況

表
デザイン
制作中

東池袋中央公園、東池袋公園、中池袋公園などにまとまったみどりがあり、区庁舎や南池袋公園、としまみどりの防災公園の整備により緑被率が向上しており、サンシャインシティや庁舎、西武百貨店などの屋上緑化により、屋上緑化率は最も高くなっています。



グリーン大通り

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

- グリーン大通りを軸とした、既存の公園や都市開発により創出されたみどりをつないだ、四季の彩りが感じられるみどりのネットワークの形成と見どころを巡るルートを選定
- 池袋駅西側と結ぶみどりの骨格軸の形成の推進
- 放射8号線（春日通り）、放射26号線（日出通り）、環状5の1号線（明治通り）、補助171号線（明治通り）、補助172号線、補助174号線（西巣鴨橋通り）、補助175号線、補助176号線及び補助177号線（サンシャイン60通り）における街路樹の適切な維持管理の継続
- 環状5の1号線及び補助81号線の整備に合わせた街路樹の整備や沿道の緑化
- 東西南北のみどりの軸の交点として拠点となる池袋駅周辺4公園のみどりの適切な維持管理の継続
- 雑司ヶ谷霊園や近隣の豊島ヶ岡御陵、庁舎などをつなぐ生物多様性に配慮したみどりのネットワークの形成

●池袋駅周辺のおもてなしのみどりづくり

- 国内外の人を迎え入れる池袋副都心の顔となる池袋駅周辺における彩りや潤いあるみどりづくりの推進

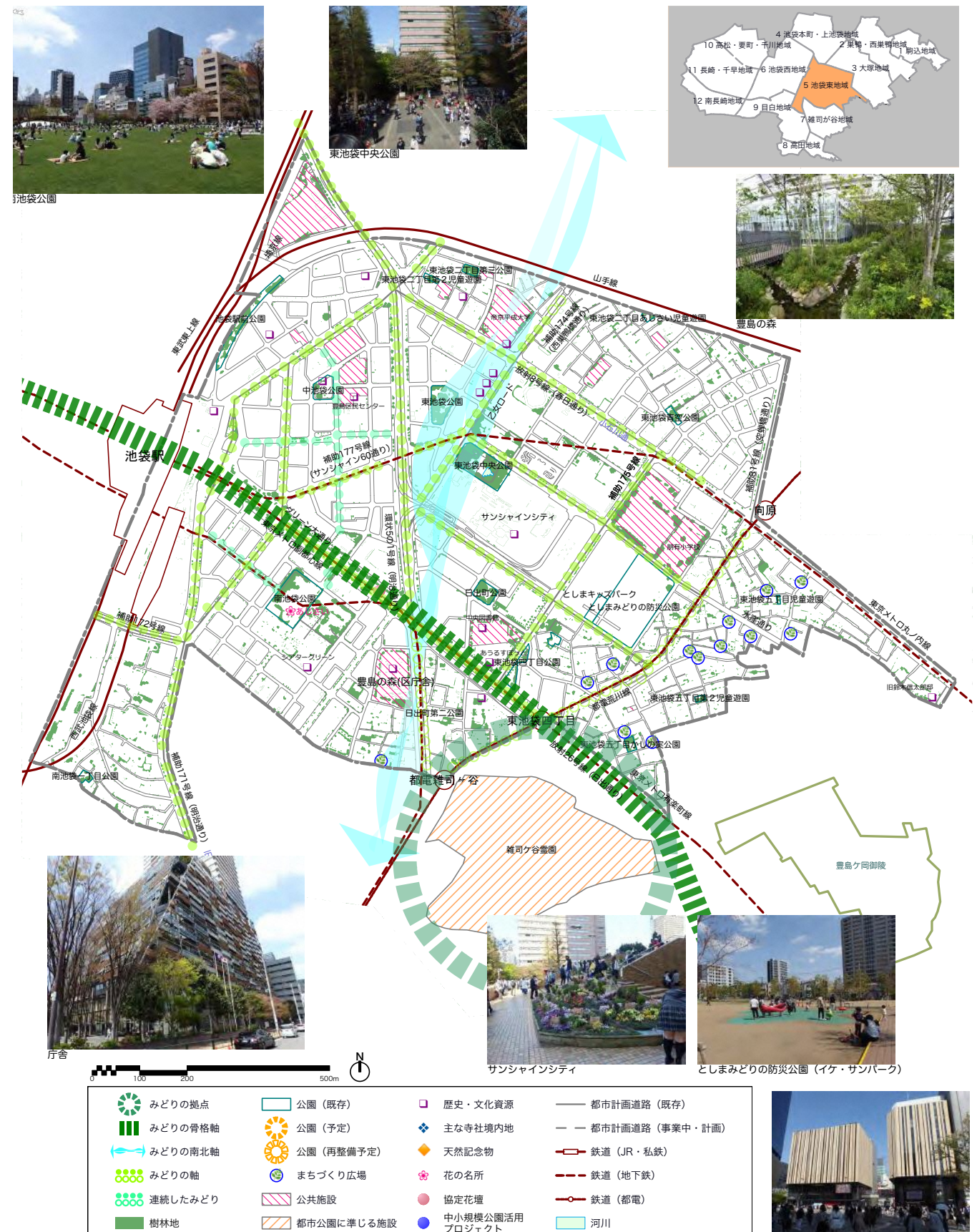
●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 庁舎における緑化空間の適切な維持管理の推進と、豊島の森での環境教育プログラムなど自然に親しむ企画のより一層の充実
- 大規模開発における、みどりの条例による緑化計画の届出制度などを活用した、緑地や公開空地の創出など都市空間の質の向上
- 東池袋4、5丁目における、居住環境総合整備事業による広場の整備や接道緑化等の推進及び、まちづくり広場の住民自主管理の推進

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

- 池袋駅周辺4公園の利用状況を踏まえて、区民・事業者・学生などの参加による池袋東地域の公園の利活用や再整備の推進

～魅力あふれる池袋副都心を支える拠点となる公園と多彩なみどりのまち～



ハレザ池袋

5-6 地域別方針 池袋西地域

①みどりの現況

区の中央部に位置する池袋1丁目から4丁目、西池袋1丁目及び3丁目から5丁目の区域で、アゼリア通りや劇場通り、また、立教大学などにまとったみどりがみられます。特に、劇場通りは区を代表するケヤキ並木として親しまれおり、地域西側には谷端川暗渠上にある谷端川南緑道のみどりが連続しています。土地利用は、池袋駅周辺で商業業務系の占める割合が高く、

6. 池袋西地域			
面積	151.8 ha		
人口（R4.1.1現在基本台帳）	23,979人		
緑地率（R元）	15.5 ha 10.2 %	：12地区の内 10 位	
樹木被覆地	13.7 ha 9.1 %		
草地	0.9 ha 0.6 %		
壁面緑化	0.9 ha 0.6 %		
公園面積（R3.7.1）	30,868.3 m 2.0 %		
みどりの活動（R3）			
・協定花壇	3 箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所		

表 みどりの現況

表
デザイン
制作中

その他の地区では住宅地が広がり、平和通りなどの駅周辺の商店街が形成されるとともに、谷端川南緑道沿道や西武池袋線沿線などに木造住宅密集地域があります。劇場公園として生まれ変わった池袋西口公園をはじめ、西池袋公園、池袋の森などにより公園面積率は比較的高いですが、緑被率は12地区中10位と低くなっています。



池袋西口公園

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

●アゼリア通り・補助78号線（要町通り）を軸とした、既存の公園や都市開発により創出されたみどり、寺社のみどりなどをつないだ四季の彩りが感じられるみどりのネットワークの形成と見どころを巡るルートを選定

- 池袋駅東側と結ぶみどりの骨格軸の形成の推進
- 放射8号線（川越街道）、環状6号線（山手通り）、補助73号線（劇場通り）、補助172号線、補助173号線における街路樹の適切な維持管理の継続と沿道の緑化
- 立教大学や西池袋公園などをつなぐみどりのネットワークの形成
- 谷端川南緑道における、地域と協働した維持管理の推進

●拠点となるみどりの保全、育成

- 学校や地域と連携した立教大学のみどりの保全
- 拠点となる池袋駅周辺4公園（池袋西口公園）のみどりの適切な維持管理の継続
- 池袋駅西口駅前広場のモザイクカルチャーにおけ

る、地域と協働した維持管理の推進

●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 大規模開発における、みどりの条例による敷地内や屋上・壁面の緑化計画の届出制度などを活用した、潤いのある公園緑地や公開空地の創出など都市空間の質の向上
- 学校や地域と連携した、西池袋中学校の緑化と花壇の維持管理の推進
- 池袋2、3丁目における接道緑化の促進や緑化されたオープンスペースの確保
- 平和通りなどの駅周辺の商店街でのみどりづくり

●区民参加によるみどりづくり

- 地域と協働した、みらい館大明のいのちの森の維持管理の推進

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

- 池袋西口公園及び西池袋公園などの利用状況を踏まえて、区民・事業者・学生などの参加による池袋西地域の公園の利活用や再整備の推進

～立教大学のみどりや魅力あるみどりの回廊を地域で育むまち～



図 みどりのまちづくり方針図（6. 池袋西地域）

5-7 地域別方針 雑司が谷地域

①みどりの現況

区の南部に位置する雑司が谷1丁目から3丁目、南池袋3、4丁目の区域で、台地と低地による地形の変化がある地域です。雑司ヶ谷霊園周辺は閑静でみどり豊かな街並みが形成されているほか、法明寺、鬼子母神*、旧宣教師館などの歴史的資源や日本女子大の樹林などがあり、まとまったみどりを形成しているため、緑被率は12地区中最も高くなっています。土地利用

7. 雑司が谷地域			
面積	73.1 ha		
人口 (R4.1.1住民基本台帳)	19,348 人		
緑被率 (R4)	17.1 ha 23.3 %	12地域の内	1 位
樹木被覆地	15.0 ha 20.5 %		
草地	1.9 ha 2.6 %		
屋上緑化	0.2 ha 0.2 %		
公園面積 (R3-7.1)	13,725.7 m ² 1.9 %		
みどりの活動 (R3)	5 箇所		
・協定花壇			
・中小規模公園活用プロジェクト	7 箇所		

表 みどりの現況

表
デザイン
制作中



鬼子母神堂

②みどりのまちづくりに向けて

●雑司ヶ谷霊園の保全・活用

- 雑司ヶ谷霊園における東京都と連携したみどりの拠点としての保全・活用

●みどりのネットワークの形成

- 放射26号線（目白通り）のみどりの骨格軸を中心に、既存の公園や都市開発により創出されたみどりをつないだ四季の彩りが感じられるみどりのネットワークの形成と見どころを巡るルートを選定
- みどりの南北軸を形成する都電沿いや環状5の1号線、補助81号線における豊かな街路樹整備の要請
- 補助76号線（目白通り）及び補助171号線（明治通り）における適正な維持管理の継続
- 雑司ヶ谷霊園や法明寺、鬼子母神*の貴重なみどりをつなぐ生物多様性に配慮したみどりのネットワークの拡大

●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 南池袋小学校のビオトープ池や校庭芝生化などの事例や、それに伴う緑化の効用の周知による意識啓発の推進

は、住宅系が過半を占めていますが、池袋副都心に近接する南池袋3丁目では商業業務系の建物もみられます。

- 住宅地等における接道緑化の促進や緑化されたオープンスペースの確保

●歴史を伝えるみどりの保全・活用

- 歴史的資源である雑司ヶ谷霊園、法明寺、鬼子母神*、旧宣教師館などのみどりの保全と観光資源としてのより一層の活用
- 雑司ヶ谷鬼子母神*の大イチョウや鬼子母神*大門ケヤキ並木など、歴史的に受け継がれている樹木等の保護

●区民参加によるみどりづくり

- 南池袋小学校で実施している生徒やPTAによる芝生やビオトープの維持管理などの活動の周知と拡大

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

- 雑司が谷公園などの利用状況を踏まえて、区民・事業者・学生などの参加による雑司が谷地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

～江戸時代の歴史を伝えるみどりと多様なみどりがつながるまち～

雑司ヶ谷霊園

明治7年（1874年）9月1日に東京府によって開設された共同埋葬墓地。御料地として、3代將軍家光の寛永15年（1638年）に薬草栽培の御薬園となり、8代將軍吉宗の享保4年（1719年）には御鷹部屋に変わり、將軍の鷹狩りに使う鷹の飼育場所として使われた。

【霊園に眠る著名人】 泉鏡花、大川橋蔵、小泉八雲、サトウハチロー、ジョン万次郎、島村抱月、竹久夢二、東郷青児、永井荷風、夏目漱石、羽仁もと子 他



御鷹部屋の面影を残すアカマツ



「御鷹部屋と松」解説板



雑司ヶ谷霊園



法明寺



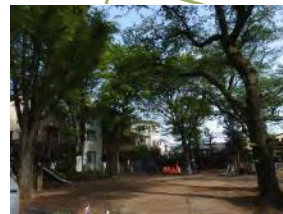
鬼子母神の大イチョウ



雑司が谷公園



日本女子大学の緑



雑司が谷一丁目公園



旧宣教師館



集合住宅の外構の緑



図 みどりのまちづくり方針図（7. 雑司が谷地域）